

2022年12月期 第2四半期 決算説明会資料

 東亞合成株式会社

2022年8月4日

2022年第2四半期決算概要

		2021年2Q	2022年2Q	増 減	
売上高	(百万円)	74,164	77,977 (82,030)	3,813 (7,865)	5.1% (10.6%)
営業利益	(百万円)	9,021	7,891 (7,922)	▲1,129 (▲1,098)	▲12.5% (▲12.2%)
営業利益率		12.2%	10.1% (9.7%)	▲2.0 (▲2.5)	—
経常利益	(百万円)	9,840	9,387	▲453	▲4.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(百万円)	7,015	7,391	375	5.4%
1株当たり四半期純利益	(円)	54.76	59.36	4.6	—
第2四半期配当(年間)	(円)	17.0(36.0)	18.0(36.0)	1.0(0.0)	5.9%
< 参 考 >					
為替レート(期中平均)	(円/US\$)	¥106.69	¥119.55		
ナフサ価格(期中平均)	(円 / k l)	¥43,100	¥75,600		

※下段()は収益認識会計基準等の適用前の数値を記載

※連結の範囲は変更なし(連結子会社18社、持ち分法適用会社2社)

< 事業環境 >

- ・半導体不足や中国でのロックダウンにより、サプライチェーンが混乱し、自動車産業および電気電子関係などで、生産調整の動きがみられた。
- ・ロシアのウクライナ侵攻が、原燃料および資源価格上昇に拍車をかけた。

< 2022年第2四半期決算 >

- ・高付加価値製品は、自動車やスマートフォン等の減産の影響で、半導体関連など一部を除き、出荷数量が減少した。
- ・汎用製品は、原燃料価格の高騰に対応し昨年から価格改定を実施。原燃料価格は高騰を続け、利益確保のため価格改定を継続。
- ・2022年第2四半期は、売上増、営業利益減だが、投資有価証券の売却があり、親会社株主に帰属する四半期純利益は375百万円増となった。

連結業績（部門別）

（百万円）

売上高	2021年2Q	2022年2Q	適用しなかった 場合の売上高	数量差	単価差	増減額 B-A	適用しなかった 場合の増減
	A	B	C				C-A
基幹化学品	32,883	35,178	36,244	▲1,197	3,492	2,294	3,360
ポリマー・オリゴマー	16,486	18,000	19,197	586	924	1,513	2,710
接着材料	5,491	5,430	5,672	▲115	55	▲60	180
高機能材料	4,750	4,983	4,978	117	115	233	228
樹脂加工製品	12,692	13,708	14,064	409	607	1,016	1,372
その他・調整額	1,859	675	1,872	▲1,183	0	▲1,183	13
合 計	74,164	77,977	82,030	▲1,383	5,196	3,813	7,865

※2022年から収益認識会計基準等を適用しています。

（百万円）

営業利益	2021年2Q		2022年2Q		増 減
	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	
基幹化学品	3,759	11.4%	3,863	11.0%	103
ポリマー・オリゴマー	2,689	16.3%	2,300	12.8%	▲389
接着材料	699	12.7%	59	1.1%	▲640
高機能材料	1,260	26.6%	1,145	23.0%	▲115
樹脂加工製品	706	5.6%	812	5.9%	105
その他・調整額	▲95	—	▲289	—	▲193
合 計	9,021	12.2%	7,891	10.1%	▲1,129

※収益認識会計基準等を適用した後の数値

連結会社概況（当期実績）

（百万円）

会社名	部門	持分 (%)	売上高		営業利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
			21/2Q	22/2Q	21/2Q	22/2Q	21/2Q	22/2Q
1 東亜テクノガス	基幹化学品	100	2,257	1,718 (2,265)	296	63	215	80
2 トウゴウケイ・シカゴ・ポール	↓	100	2,246	2,847	548	903	542	911
3 MTIフィリピン・ネット	↓	90	258	369	2	4	2	4
4 MTアクアポリマー	ポリマー・オリゴマー	51	5,536	6,992 (7,649)	277	282	201	250
5 台湾東亜合成	↓	100	744	1,001	61	118	55	106
6 東昌化学	↓	51	929	1,245	57	33	26	13
7 張家港東亜愛生化学	↓	90	1,054	1,049	91	10	72	▲6
8 トウゴウケイ・タイランド	↓	100	1,333	1,089	102	▲8	51	▲17
9 トウゴウケイ・アメリカ	接着材料	100	762	907	1	▲13	64	57
10 アロン包装	↓	100	122	130	▲1	3	▲1	2
11 東亜合成香港	↓	100	144	135	14	10	13	10
12 東亜合成珠海	↓	100	261	304	1	▲34	0	▲28
13 アロン化成	樹脂加工	100	12,763	12,760 (13,706)	847	890	435	512
14 アロンケイ・タイランド	↓	100	57	285	▲155	▲92	▲160	▲98
15 東亜興業	その他	100	511	558	▲20	▲10	▲17	▲10
16 東亜ビジネスアソシエ	↓	100	1,224	1,028 (1,106)	37	▲26	24	▲27
17 TGコーポレーション	↓	100	5,965	629 (6,487)	200	175	140	124
18 東亜物流	↓	100	271	282	13	9	9	6
単純合計			36,437	33,328	2,371	2,317	1,671	1,889

※下段（ ）は収益認識会計基準等の適用前の数値を記載

連結損益計算書(営業外損益・特別損益)

【営業外損益】

(百万円)

	2021年2Q	2022年2Q	増 減
受取利息・配当金	600	625	24
持分法による投資利益	117	136	19
為替差益	30	769	738
固定資産賃貸料	130	108	▲22
雑収入	141	109	▲32
支払利息	▲48	▲41	6
遊休設備費	▲16	▲12	3
環境整備費	▲47	▲166	▲118
雑支出	▲89	▲32	57
合 計	819	1,495	676

【特別損益】

(百万円)

	2021年2Q	2022年2Q	増 減
投資有価証券売却益	—	1,000	1,000
補助金収入	26	283	256
固定資産処分損	▲88	▲380	▲291
投資有価証券評価損	—	▲112	▲112
合 計	▲62	791	854

・持分法利益(内訳)

(百万円)

	2021年2Q	2022年2Q	差異
ILマーズ・トウゴウケイ	104	116	11
中部液酸	13	20	7
合 計	117	136	19

・為替レート

	2021年 12月末	2022年 3月末	2022年 6月末
円/USD	114.95	122.39	136.68
円/THB	3.44	3.68	3.85

連結貸借対照表

(百万円)

	2021年 12月末	2022年 6月末	増 減
流 動 資 産	145,168	143,513	▲1,655
現預金 ①	52,457	45,912	▲6,545
受取手形・売掛金	48,456	48,630	173
有価証券 ①	23,000	20,000	▲3,000
棚卸資産 ②	19,387	24,314	4,926
その他流動資産	1,867	4,656	2,789
固 定 資 産	113,787	124,356	10,569
有形固定資産 ③	78,193	89,301	11,107
投資有価証券	28,722	27,501	▲1,221
その他固定資産	6,870	7,554	683
資 産 合 計	258,955	267,870	8,914

	2021年 12月末	2022年 6月末	増 減
負 債 合 計	52,343	56,574	4,231
支払手形・買掛金②	18,391	21,459	3,067
借入金	11,207	11,135	▲72
未払法人税等	3,728	2,510	▲1,218
その他負債合計	19,015	21,469	2,454

	2021年 12月末	2022年 6月末	増 減
純 資 産 合 計	206,612	211,296	4,683
株主資本	189,396	193,080	3,683
その他の包括利益累 計額	12,367	13,273	905
非支配株主持分	4,848	4,942	94
負 債 ・ 純 資 産 合 計	258,955	267,870	8,914

①川崎工場の底地を購入し減少
(有価証券は譲渡性預金)

②原料価格の上昇により増加

③川崎工場の底地を購入し増加

自己資本比率	77.9%	77.0%	▲0.9P
--------	-------	-------	-------

連結キャッシュフロー計算書

(百万円)

		2021.2Q	2022.2Q	増減
営業キャッシュ・フロー	A	13,591	11,190	▲2,400
投資キャッシュ・フロー	B	▲13,283	▲9,270	4,013
フリー・キャッシュ・フロー	C=A+B	307	1,919	1,612
財務キャッシュ・フロー	D	▲2,276	▲6,147	▲3,870
その他	E	304	703	398
現金及び現金同等物の増減額	F=C+D+E	▲1,664	▲3,523	▲1,859

現金及び現金同等物の期末残高	G	42,135	42,980	844
----------------	---	--------	--------	-----

ロシアのウクライナ侵攻、サプライチェーンの混乱や原燃料価格および資源価格の高騰などにより、先行きの不透明感は解消されず、厳しい状況が続く見込み。

景気減速懸念があるも、
中計の営業利益目標達成に向け、
利益確保に積極的な活動を続ける

1. 原燃料価格、製品市況などを見据え、柔軟な価格対応で収益確保に努める
2. 半導体関係向けに、売上を伸ばしている各種製品の更なる拡販と収益力アップに注力する
3. 下期も自社株買いを継続

2022年12月期通期予想

2022年12月期 連結業績予想

(百万円)

	2021年間実績 (A)	2022上期実績	2022下期予想	2022年間修正 (B)	増減 (B-A)
売上高	156,313	77,977	82,023	160,000	3,687
営業利益	17,676	7,891	9,109	17,000	▲676
営業利益率	11.3%	10.1%	11.1%	10.6%	▲0.7%
営業外損益	1,306	1,495	4	1,500	193
経常利益	18,983	9,387	9,112	18,500	▲483
特別損益	▲181	791	▲1,691	▲900	▲718
税前利益 (a)	18,801	10,178	7,421	17,600	▲1,201
法人税等及び同調整額 (b)	▲4,821	▲2,658	▲1,741	▲4,400	421
税負担率 (b)/(a)	25.6%	26.1%	23.5%	25.0%	▲0.6%
非支配株主に帰属する当期 (または四半期)純利益	▲208	▲129	▲70	▲200	8
親会社株主に帰属する当期 (または四半期)純利益	13,771	7,391	5,609	13,000	▲771
配当 (円)	36	18	18	36	0
< 参 考 >					
為替レート (期中平均) (円/US\$)	¥108.99	¥119.55	¥130.00	¥124.77	
ナフサ価格 (期中平均) (円/kl)	¥50,175	¥75,600	¥80,000	¥77,800	

(注1) ナフサ : k l 当たり1千円の変動で±300百万円。為替 : 1円/US\$の円安で△140百万円。

(注2) 2022年から収益認識会計基準等を適用しています。

2022年12月期 連結業績予想 (部門別)



売上高

(百万円)

	2021実績	2022年予想		増 減	適用しなかった 場合の増減	B-Aの増減要因
		収益認識会計基準 適用後	収益認識会計基準 適用前			
	A	B	C	B-A	C-A	
基 幹 化 学 品	70,312	74,200	76,330	3,888	6,018	[増収]アクリルモノマー、電解製品
ポリマー・オリゴマー	34,904	35,400	37,794	496	2,890	[増収] アクリルオリゴマー、凝集剤
接 着 材 料	11,336	11,800	12,282	464	946	[増収]瞬間接着剤
高 機 能 材 料	9,779	10,400	10,408	621	629	[増収]高純度無機化学品
樹 脂 加 工 製 品	26,131	27,200	27,910	1,069	1,779	[増収]管工機材、ライフサポート、エラストマーコンパウンド
そ の 他	3,847	1,000	3,892	▲ 2,847	45	
合 計	156,313	160,000	168,616	3,687	12,303	

※2022年から収益認識会計基準等を適用しています。

※予想数値は、2月10日に発表したものを、7月29日に変更したものです。

営業利益

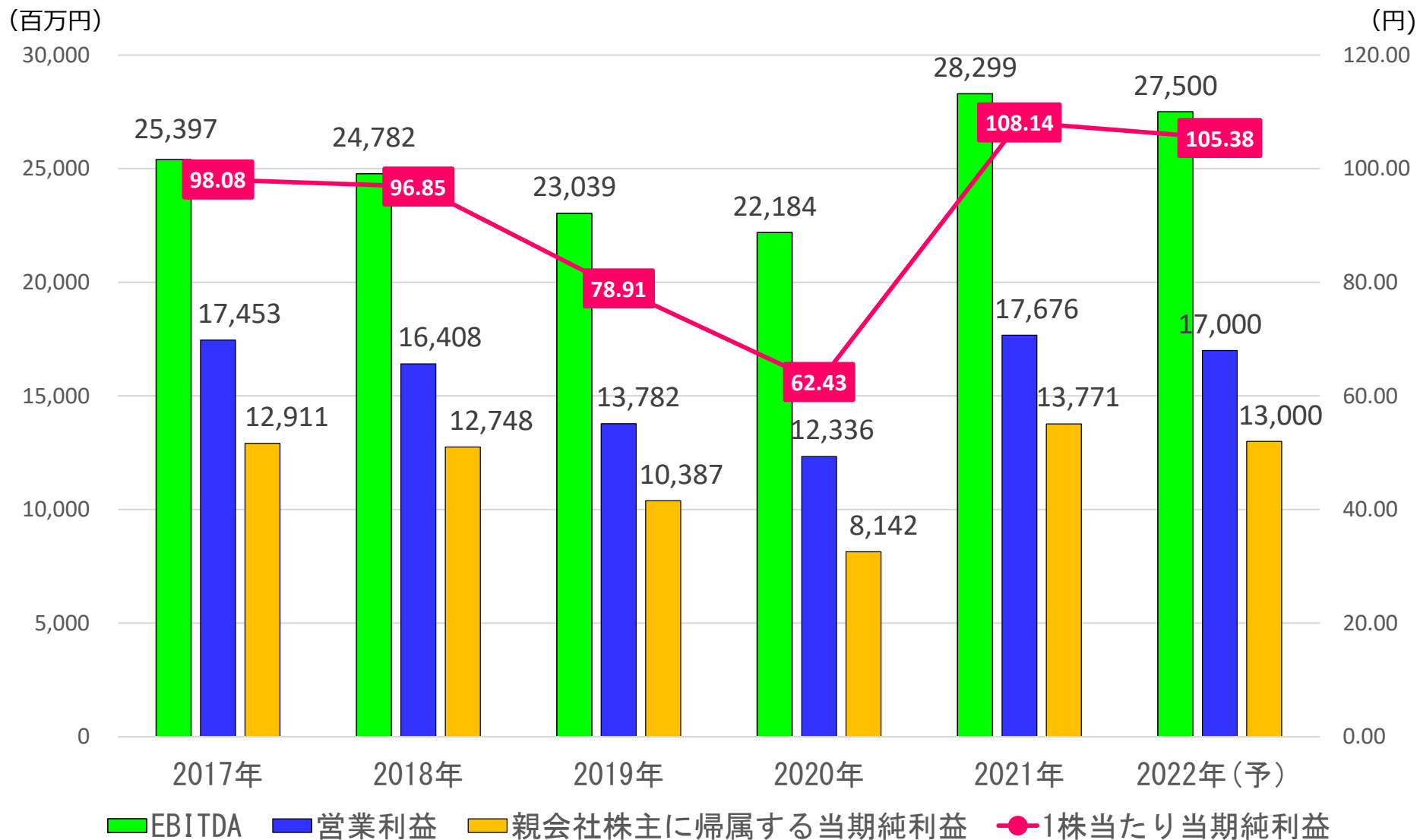
	2021実績		2022予想		増 減	増減要因
基 幹 化 学 品	7,992	11.4%	8,420	11.3%	428	[増益]アクリルモノマー
ポリマー・オリゴマー	5,276	15.1%	5,100	14.4%	▲ 176	[減益]アクリルポリマー
接 着 材 料	845	7.5%	50	0.4%	▲ 795	[減益]機能性接着剤
高 機 能 材 料	2,449	25.0%	2,400	23.1%	▲ 49	[減益]高純度無機化学品
樹 脂 加 工 製 品	1,433	5.5%	1,460	5.4%	27	[増益]管工機材
そ の 他	▲ 319	-	▲ 430	-	▲ 111	
合 計	17,676	11.3%	17,000	10.6%	▲ 676	

※収益認識会計基準等を適用した後の数値

2022年中期経営計画との比較

	2022年2Q 実績		2022年 予想		2022年 中計目標
	収益認識会計基準等 適用後	収益認識会計基準等 適用前	収益認識会計基準等 適用後	収益認識会計基準等 適用前	
売上高	779億円	820億円	1,600億円	1,737億円	1,630億円
営業利益 [営業利益率]	78億円 [10.1%]	79億円 [9.7%]	170億円 [10.6%]	170億円 [9.8%]	170億円 [10.4%]
EBITDA	132億円	—	275億円	—	270億円
高付加価値製品 売上高比率	44.7%	44.4%	43.9%	42.4%	47%
設備投資額 (認可ベース)	参考 2020年 118億円 2021年 249億円	—	323億円	—	(中計期間累計) 440億円
海外売上高 [海外売上高比率]	154億円 [19.8%]	159億円 [19.4%]	322億円 [20.1%]	332億円 [19.7%]	325億円 [20%]
EPS (1株当たり純利益)	59.36円	—	105.38	—	106円
ROA (総資産経常利益率)	3.6%	—	7.08%	—	7.0%

連結業績推移

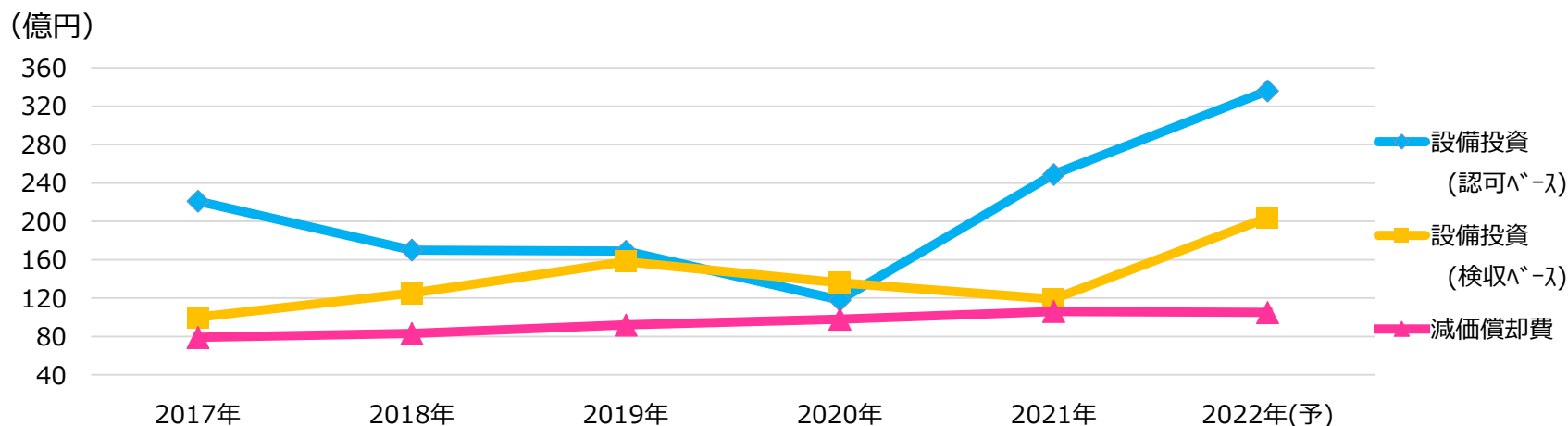


連結経営参考数値

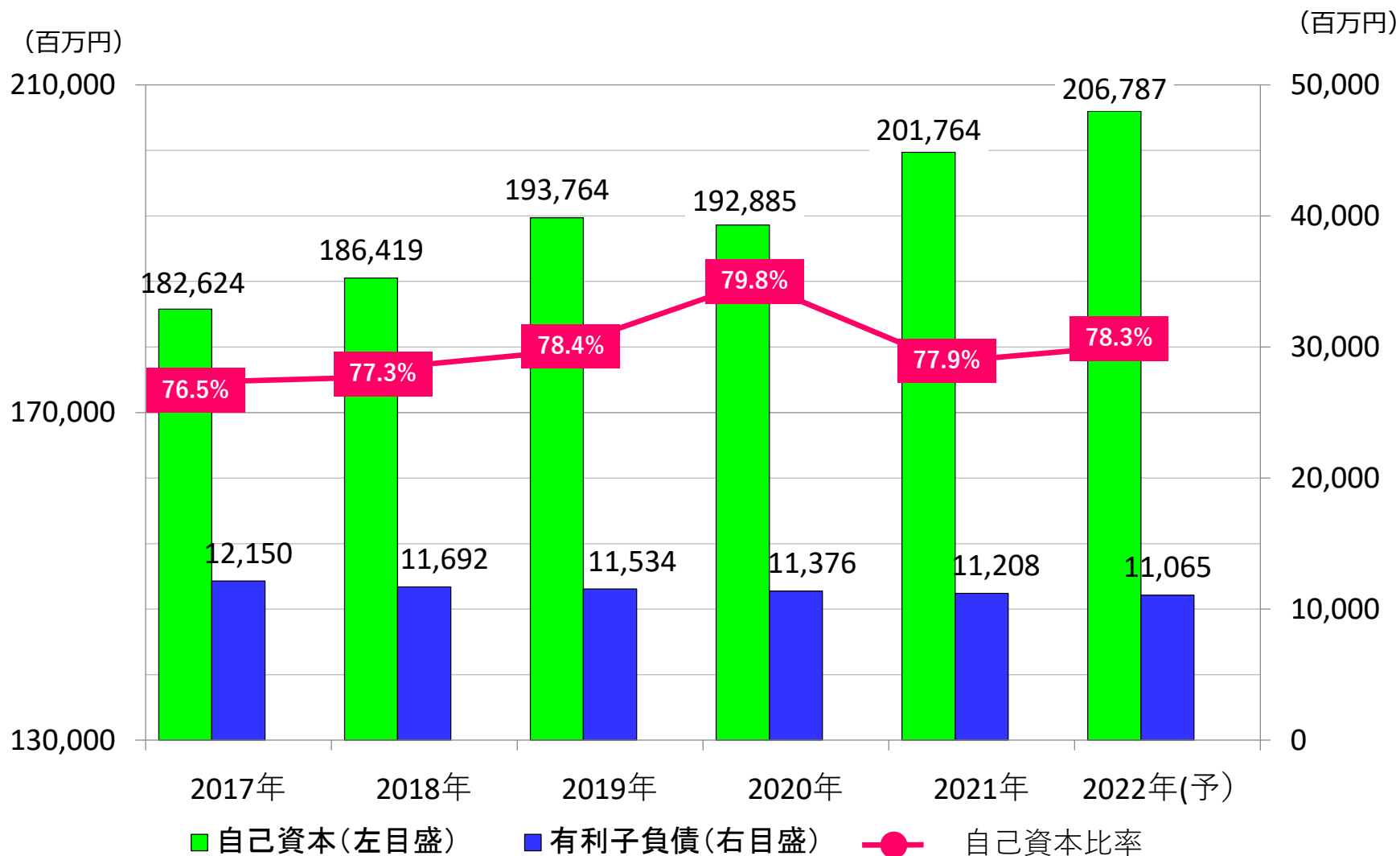
(億円)

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年(予)
設備投資 (検収ベース)	100	125	158	136	119	204
設備投資 (認可ベース)	221	170	169	118	249	323
減価償却費	79	83	92	98	106	105
試験研究費	37	36	37	40	43	48
海外売上高	242	245	226	221	290	322 (332)
海外売上高比率(%)	16.7	16.4	15.6	16.6	18.6	20.1 (19.7)
有利子負債	121	116	115	113	112	110

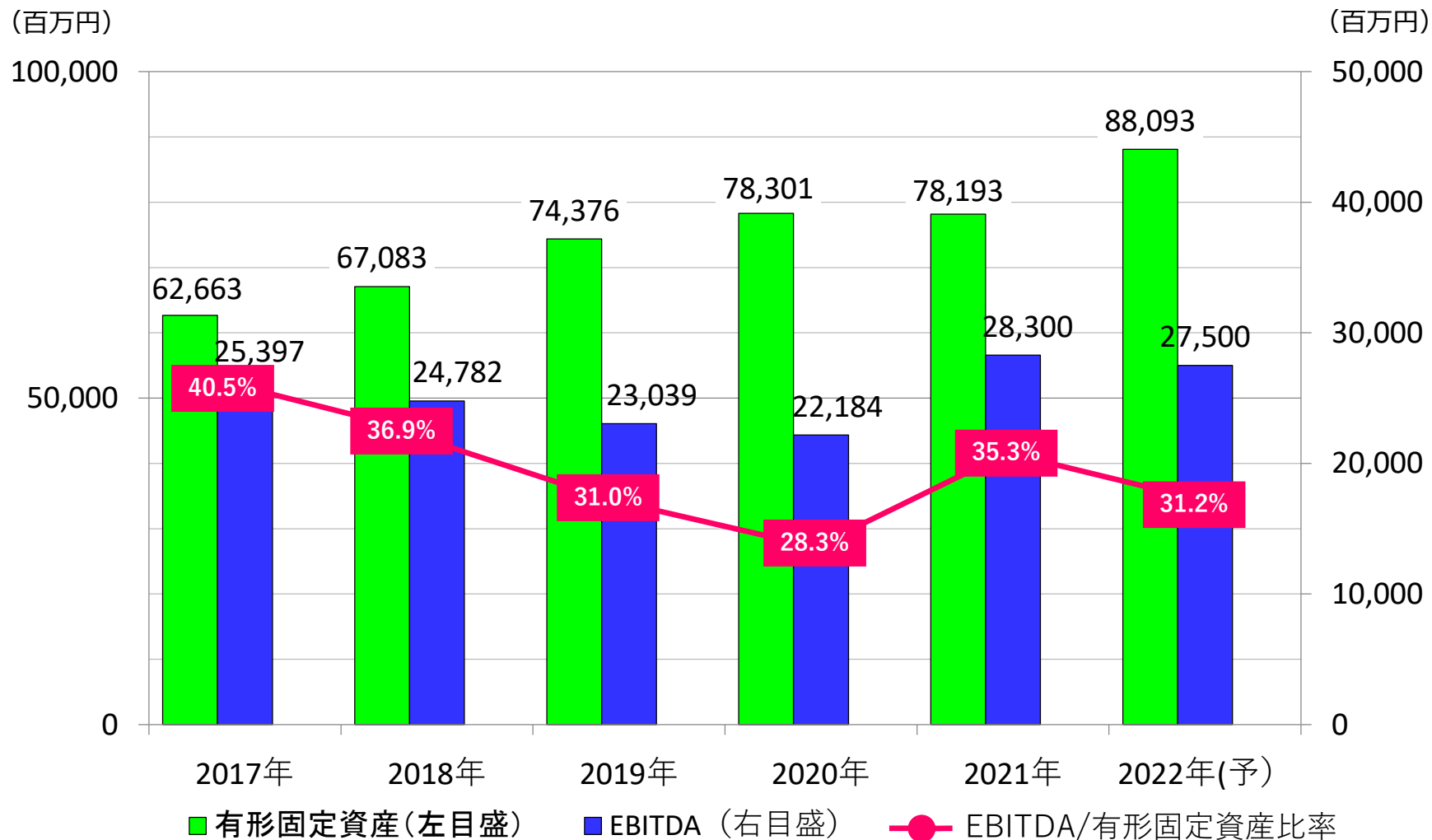
※下段（ ）は収益認識会計基準等の適用前の数値を記載

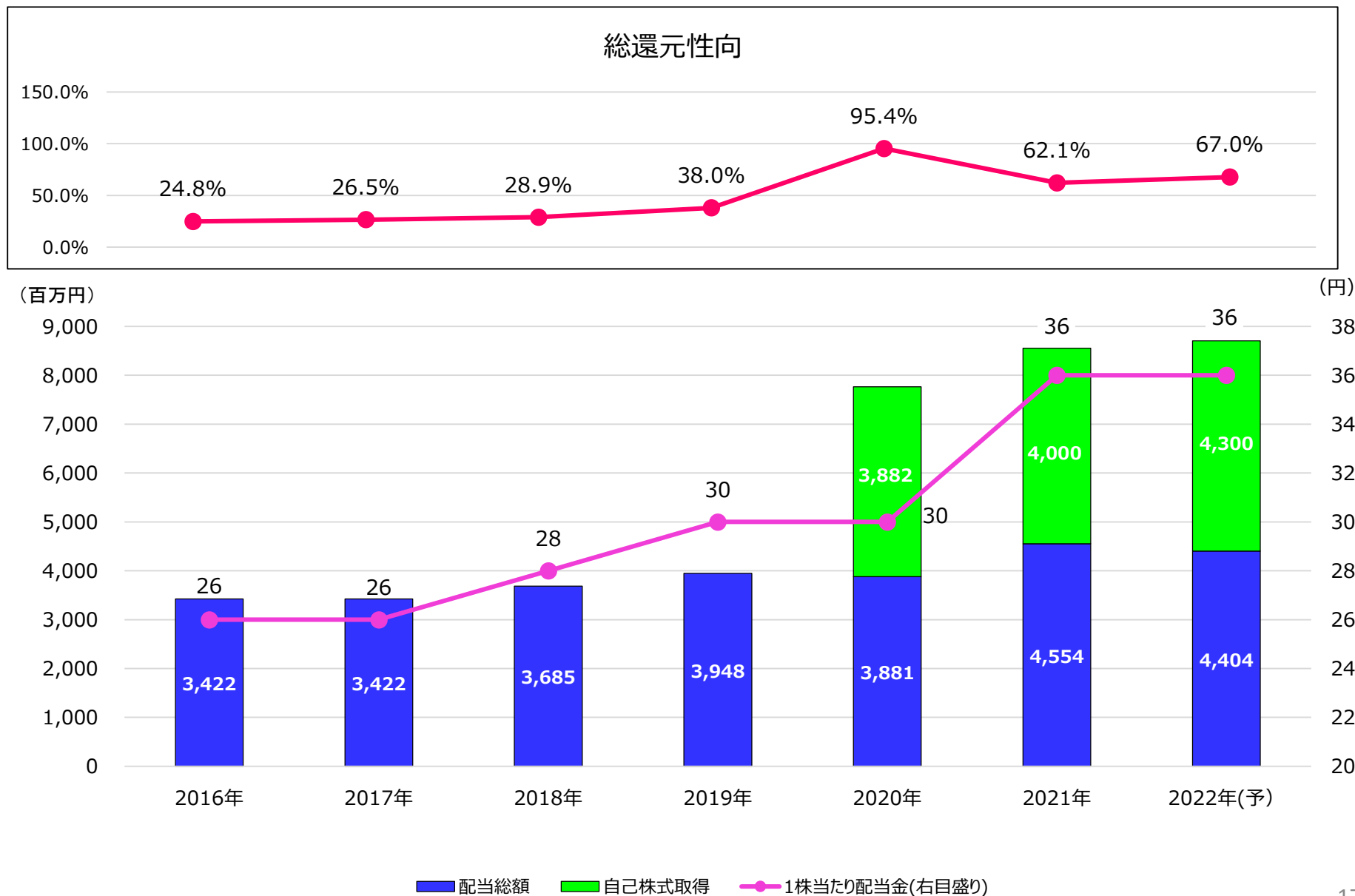


連結経営参考数値の推移



EBITDA/有形固定資産比率の推移

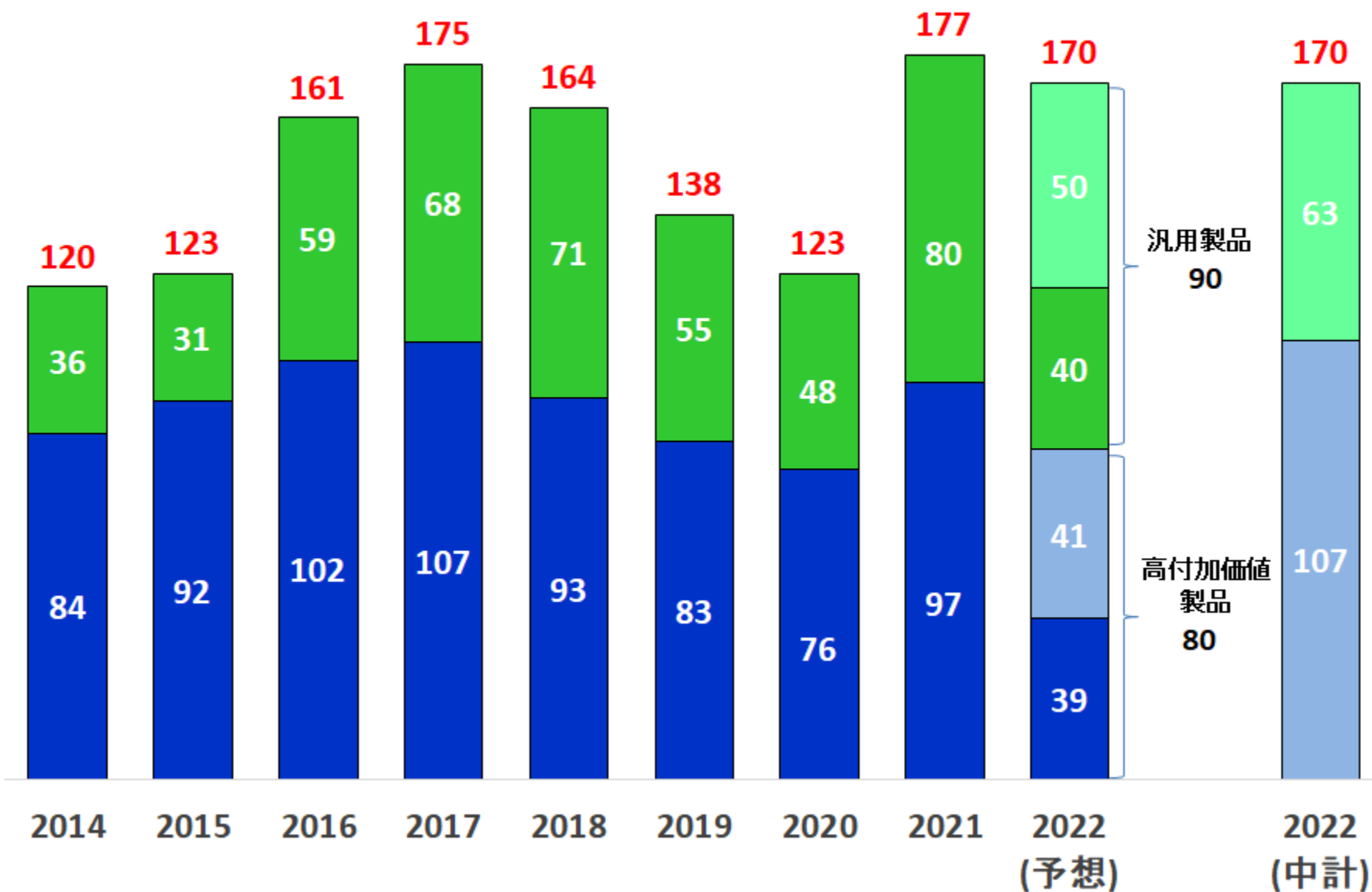




中計「Stage up for the Future」 営業利益の推移

単位：億円

■ 高付加価値製品 ■ 汎用製品



E (環境)

S (社会)

2019年6月	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言へ賛同
2021年8月	内閣府・文部科学省・経団連「理工チャレンジ（リコチャレ）」イベント実施
2021年12月	<p>「2050年カーボンニュートラル（実質ゼロ）」目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2030年に2013年比50%削減（215千トン） ・2050年にカーボンニュートラル（実質ゼロ） <p>①着手項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイオマスガス化発電導入に関する検討を開始 ・横浜市ごみ焼却場からのカーボンニュートラル蒸気活用に関する検討を開始 ・小水力発電導入に関する調査検討を開始 <p>②今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業所における太陽光発電の設置可能エリア、規模の調査 ・水素利活用に関する施策を検討
2021年12月	「子供の未来応援基金」「一般財団法人あしなが育英会」寄付
2022年1月	EcoVadis社「2022年サステナビリティ評価」プラチナ評価取得
2022年3月	健康経営優良法人2022「ホワイト500」に認定
2022年3月	横浜市と「ごみ焼却熱有効利用実現可能性調査に関する覚書」を締結。共同で調査を開始
2022年4月	「東亜合成水素ステーション徳島」開所

G (ガバナンス)

2019年3月	買収防衛策の廃止
2019年3月	女性取締役を初めて選任
2020年3月	取締役を対象に譲渡制限付株式報酬制度を導入
2021年10月	「東亜合成グループコーポレートガバナンス基本方針」改訂 <ul style="list-style-type: none"> ・以下のとおり、株主還元の上昇を図る 連結配当性向 30%程度 連結総還元性向 50%程度を目標 ・政策保有株式の貸借対照表への計上額が連結純資産の 10%程度となることを目標にする 2021年12月末現在 : 12.6% ・英語開示の推進 決算短信の全文開示(2021年12月期～)
2022年4月	東京証券取引所「プライム市場」への移行

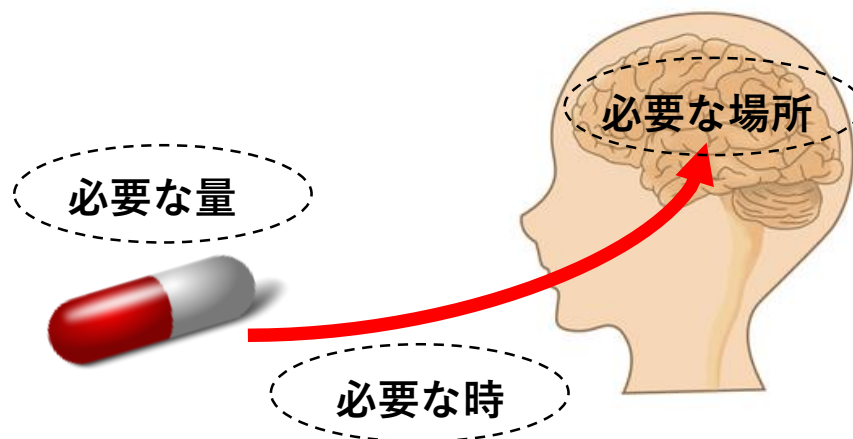
ドラッグデリバリーシステム

〔DDS〕

狙った細胞に薬を運ぶシステムのDDSに適する細胞膜透過性ペプチド「ヌクレオロン[®]」を開発。

（特徴）

- ・ 脳内に運ぶことができる。
 - ・ 細胞膜透過性があり核内に運ぶことができる。
- 例：脳細胞に抗がん剤や治療薬などを届ける

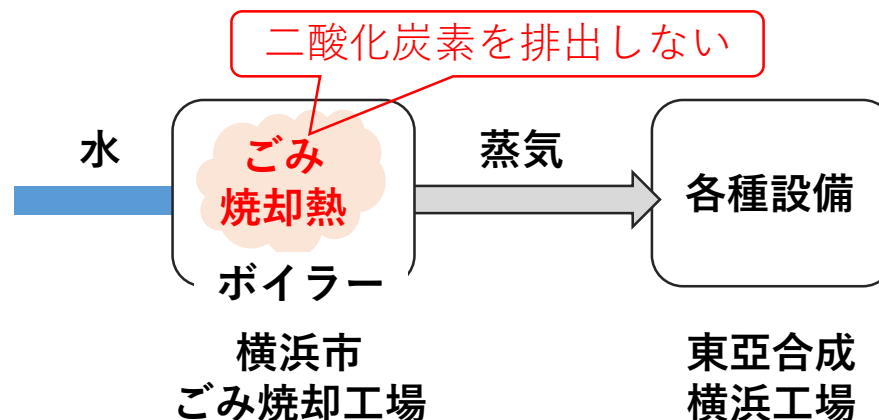


DDSのイメージ図

※ドラッグデリバリーシステム
人体に投与する薬剤を、必要な時に、必要な場所に、必要な量で、狙い通りに届ける薬物送達技術のこと。

熱エネルギーの有効利用

二酸化炭素を排出しない
ごみ焼却熱による蒸気を、
横浜工場で有効利用する
ことについて、横浜市と
共同で検討を開始。



名古屋工場物流センター

名古屋工場内外で使用している倉庫の集約に加え、外部への賃貸も行う物流センターの建設を着工（2024年完成予定）。
当社のサプライチェーンの強化に加え、賃料収入を得ることで収益拡大も実現。

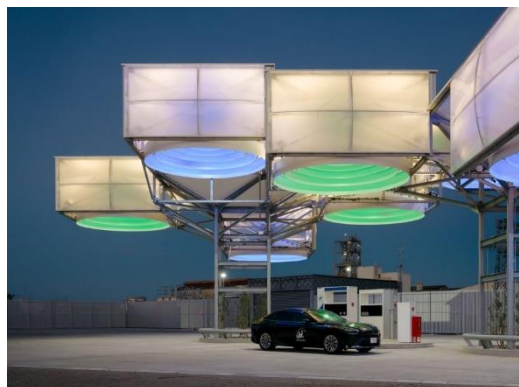


物流センター完成イメージ

水素ステーション徳島

4月15日に開所式を行い、移動式水素ステーション「東亜合成H2水素シャトル」とともに、正式に営業を開始。

隣接している徳島工場で製造された水素を供給する製造・供給直結型の水素ステーションのため、安価に水素を供給することが可能。



水素ステーション徳島



開所式



H2水素シャトル

トピックス (アロンアルファ)

- ◆ アロンアルファ「タフパワー」発売中
従来品より耐水性と耐熱性を向上させ、
容器を使いやすくしました



キャップを外してすぐ使える
ワンステップ開封！



エラストマーの採用で、
液量コントロールがしやすい！



金メダリストのウルフアロン選手が出演するTVCMも好評です



アロンアルファ タフパワー 


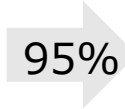


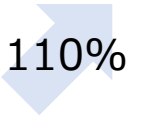



アロンアルファ タフパワー 

参考資料

基幹化学品事業	前年同期比		増減理由
	2Q	1Q-2Q (累計)	
無機化学品	112%	107%	電解製品は前年並みの販売数量、 価格改定により増収
アクリルモノマー	140%	137%	自動車減産の影響もあるが、 価格改定により増収
工業用ガス	77%	81%	収益認識会計基準等の適用により減収

※収益認識会計基準等を適用した後の数値

ポリマー・オリゴマー事業	前年同期比		増減理由
	2Q	1Q-2Q (累計)	
ポリマー	99% 	95% 	自動車産業向け販売数量減
オリゴマー	110% 	108% 	インキ用途や電子製品向けが出荷堅調
凝集剤	110% 	127% 	他社からの販売事業の承継もあり増収

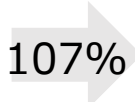
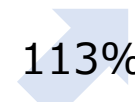


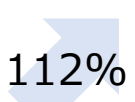

※収益認識会計基準等を適用した後の数値

接着材料事業	前年同期比		増減理由
	2Q	1Q-2Q (累計)	
瞬間接着剤	107%	104%	国内は巣ごもり需要減少により減収。 海外は増販および円安により、合計で前年並み
機能性接着剤	92%	95%	車載用電池で新規採用 スマートフォン等の減産の影響で出荷減

※収益認識会計基準等を適用した後の数値

高機能材料事業	前年同期比		増減理由
	2Q	1Q-2Q (累計)	
無機機能材料	96%	101%	前年並みの出荷
高純度無機化学品	101%	106%	半導体向け出荷好調

※収益認識会計基準等を適用した後の数値

樹脂加工製品事業	前年同期比		増減理由
	2Q	1Q-2Q (累計)	
管工機材	107% 	113% 	原燃料価格の上昇に伴う価格改定
ライフサポート	103% 	102% 	前年並みの出荷
エラストマー コンパウンド	112% 	105% 	電子関係での生産減の影響があるも、自動車関係での新規採用により増収

※収益認識会計基準等を適用した後の数値